



メルセデス AMG 独自開発の 4 ドアスポーツカー

AMG

Press Information

2023 年 6 月 29 日

新型メルセデス AMG GT 63 S 4MATIC+を発売

- ・ 改良された AMG RIDE CONTROL+エアサスペンションを採用
- ・ 内外装カラーに新色を追加
- ・ 最新世代の AMG パフォーマンスステアリングを標準装備

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長: 上野金太郎、本社: 東京都品川区)は、「新型メルセデス AMG GT 63 S 4MATIC+」を発表し、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて発売します。

「メルセデスAMG GT 4 ドアクーペ」は、メルセデスAMG社の独自開発による新たなスポーツカーです。メルセデスAMGのアイデンティティである、究極のハイパフォーマンスを持ちながら、官能的なデザインと広い室内空間および4ドアの利便性を兼ね備えており、パフォーマンスやデザイン性を求めながらも、日常生活での使い勝手にも妥協をすることができないお客様のご要望に応えるモデルです。

新型メルセデスAMG GT 63 S 4MATIC+の主な特長

改良された AMG RIDE CONTROL+エアサスペンションを採用

従来のマルチチャンバーを備えたAMG RIDE CONTROL+エアサスペンションに、新たにダンパーの外側に2つの圧力制御バルブを追加しました。1つはホイールのリバウンドで発生するリバウンドダンピングを制御するバルブ、もう1つはホイールが収縮する際に発生するコンプレッションダンピングを制御するバルブです。これにより、ホイールのリバウンドと収縮のステージをそれぞれ別個に制御することが可能となりました。最小減衰力と最大減衰力の特性差を広げ、マップデザインの柔軟性をさらに高めることで、快適性を高める一方で、スポーティなドライビングダイナミクスの両立を実現しました。

MBUX インテリア・アシスタントを標準装備

手のジェスチャーで様々な操作が可能になりました。例えば、V サインによって、お気に入りの機能のショートカットをメディアディスプレイに表示したり、ルームミラーの下で手を上下させることでリーディングライト、助手席シート上方に手を伸ばしてサーチライトのオン・オフや利便性が向上しています。

ホームスクリーン、メディア、ナビゲーション、シート調節では選択項目をハイライトまたは拡大表示することで、より操作しやすくなるよう配慮されています。また、360°カメラシステムの映像を車両の前後左右、俯瞰などを任意に切り替えることができるので、駐車の際などに大変便利です。

MBUX AR ナビゲーションを標準装備

GT 63 S 4MATIC+には、MBUX AR (Augmented Reality = 拡張現実)ナビゲーションを標準装備しました。従来、目的地を設定して行先案内をする場合、地図上に進むべき道路がハイライトされますが、新型では、それに加えて、車両の前面に広がる現実の景色がナビゲーション画面の一部に映し出され、その進むべき道路に矢印が表示されます。

最新世代の AMG パフォーマンスステアリングホイールを標準装備

ドライビングに集中しながら各種メニュー操作が可能な AMG ドライブコントロールスイッチを備えた AMG パフォーマンスステアリングを標準装備しました。

ボディカラーおよびインテリアカラーに新色を追加

ボディカラーに以下の新色を追加しました。

- MANUFAKTUR ルビーライトレッド(メタリック)
- MANUFAKTUR オリーブ(メタリック)
- MANUFAKTUR イエローストーン(ソリッド)
- MANUFAKTUR コートダジュールライトブルー(メタリック)

インテリアカラーに以下の新色を追加しました。

- MANUFAKTUR シェナブラウン/ブラック
- MANUFAKTUR クラシックレッド/ブラック
- MANUFAKTUR ネバグレー/ブラック
- MANUFAKTUR ディープホワイト/ブラック

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

| モデル | ステアリング | エンジン | メーカー希望小売価格 ^{*4} ()内は消費税抜き車両本体価格 |
|---|--------|---------------------------|--|
| メルセデス AMG GT 43 4MATIC+ (ISG ^{*3} 搭載モデル) (MP:202302) | 右 | 3.0L、直列 6 気筒 直噴ターボ | ¥ 15,000,000 (¥ 13,636,364) |
| メルセデス AMG GT 53 4MATIC+ (ISG ^{*3} 搭載モデル) (MP:202302) | 左/右 | | ¥ 19,700,000 (¥ 17,909,091) |
| メルセデス AMG GT 63 S 4MATIC+ (MP:202302) | 左 | 4.0L、V 型 8 気筒 直噴ツインターボ | ¥ 28,500,000 (¥ 25,909,091) |

^{*3}: ISG は Integrator Starter Generator の略称です。

^{*4}: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。販売店が価格は独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

なお、新型メルセデスAMG GT 63 S 4MATIC+にも、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

また、メルセデス・ケア終了後、有償の保証延長プログラムとして、一般保証および24時間ツーリングサポートを2年間延長する「保証プラス」をご用意しています。

「メルセデスAMG GT 63 S 4MATIC+」のその他の特長

メルセデス AMG GT 4ドアクーペのシャーシの開発には、モータースポーツの分析およびシミュレーションの手法が採用され、最大のパフォーマンスを確保すべく、適切な箇所に補強を実施しました。フロントセクションは非常に剛性が高く、正確なステアリングとフィードバックをドライバーにもたらしめます。中央部からリアエンドは、ガセットやクロスメンバーを追加、ラゲッジフロア部に CFRP を採用するなど軽量、高剛性を実現しています。

GT 63 S 4MATIC+には、AMG 4.0リッターV8直噴ツインターボエンジン「M177」が搭載されます。砂型鋳造されたクローズドデッキのアルミニウムクランクケースに鍛造アルミニウム製ピストンを組み合わせることで、軽量かつ高強度なエンジンを実現しました。また、シリンダーウォールにスチールカーボン材を溶射コーティングする NANOSLIDE®摩擦低減加工を施すことで、フリクションロスを低減しています。

2基のターボチャージャーはV型シリンダーバンクの外側ではなく内側に配置する「ホットインサイドV」レイアウトとしました。エンジンを可能な限りコンパクトにするとともに、ターボチャージャーへの吸排気経路の最適化とツインスクロールとすることで、低回転域から優れたレスポンスを実現します。

メルセデスAMGが独自開発したこれらの最新技術により、最高出力639PS (470kW)、最大トルク900Nmを2,500~4,500回転の広い範囲で発揮し、0-100km/h 加速 3.2秒、最高速度315km/hを実現しています。

また、効率性を強化するため、気筒休止機能「AMGシリンダーマネジメント」を搭載しました。「Comfort」モードで走行中、エンジン回転数が1,000~3,250回転で低負荷の際に、2番、3番、5番、8番のシリンダーを休止することで燃料消費量とCO₂排出量を抑えることができます。

トランスミッションは、ダイレクト感のある素早いシフトチェンジと高い伝達効率を実現した電子制御式9速トランスミッション「AMGスピードシフトMCT(マルチ・クラッチ・テクノロジー)」を搭載。通常のオートマチック・トランスミッションに見られる損失を低減し、軽量化も相まって燃費の大幅な向上とレスポンス向上に貢献しています。シフトダウン時のブリッピング機能やレーススタート機能によってダイナミックな走りも愉しめます。

また、シフトダウン時に一速飛ばしたギアを選択したり、ダブルクラッチ機能など効率良くシフトチェンジを行います。

高性能エンジンのパワーを四輪に最適配分するメルセデスAMGが開発した四輪駆動システム「AMG 4MATIC+」を搭載しています。前後トルク配分が50(前):50(後)から0(前):100(後)の範囲で可変トルク配分を行うことで、ハイパワーを四輪へ最適に配分します。発進時はもちろん高速走行、ハイスピードコーナリング、そしてコーナーの立ち上がり加速などにおいて絶対的な安定性を誇り、思いのままのドライビングを楽しむことができます。さらに、「駆動配分を0:100の完全後輪駆動にすることで、サーキット走行時などにおいてドライバーの意のままに操ることができる「ドリフトモード」を搭載しています。また、「電子制御AMGリミテッド・スリップ・デフ」を装備し、走行状況に応じてロッキング機構を電子制御することでトラクションを高め、コーナー出口での加速タイミングを早める、ブレーキング時の安定性を高める、発進加速時のトラクションを高めるなどの効果を発揮します。

GT 63 S 4MATIC+には、リア・アクスルステアリングが採用されています。このシステムはアジリティと安定性の両立をさらに進化させることにより、AMG GT 4ドアクーペのダイナミズムと走行安全性を強化します。

速度が100km/h以下では、電動アクチュエーターモーターの働きでリアホイールをフロントホイールとは逆方向に最大1.3度操舵します。これによりコーナー進入時のアジリティが大幅に高まるほか、日常の走行シーンでは回転半径が小さくなるため、クルマが扱いやすくなります。

速度が100km/hを超えると、リアホイールをフロントホイールと同じ方向に最大0.5度操舵することで、走行安定性を大きく高めます。同時に、方向を変える際、リアホイールに働く横Gの増加ペースが高まり、ステアリング操作に対するレスポンスが改善されます。また、素早くステアリング操作しても、通常のようにリアが外側にかかる傾向を見せず、優れたリアグリップと安定性が得られます。

ドライブモードは6モード用意されており、センターコンソールのAMG DINAMIC SELECTおよびAMG パフォーマンスステアリングのスイッチで様々な状況に最適な制御を選択することができます。

各ドライブモードでは、エンジン、トランスミッション、サスペンション、エグゾースト、ステアリングの制御が変更可能な他、各モードに選択される「ベーシック」、「アドバンスト」、「プロ」、「マスター」の4つのモードがあり、四輪駆動システムやESP®の制御を変化させます。

例えば、ドライブモード「レース」「マスター」モードは、ヨーレートの引き上げや、アクセルペダル、ギアシフトシステム、リア・アクスルステアリング、リアの電子制御リミテッド・スリップ・デフ、あるいは四輪駆動システムのブレーキ力配分のレスポンス高速化などを行います。

また、ドライブモードとは独立して、マニュアルシフトへの切り替えや、車高およびエグゾーストサウンドの調整などがセンターコンソールの液晶表示ボタンで操作することができます。

GT 63S 4MATIC+は、快適な後席環境や積載性を確保する一方、メルセデス・ベンツの「Sensual Purity(官能的純粋)」というデザインの基本思想にのっとり、官能的なスタイリングに仕上げられています。また、AMG GT ファミリーであることが、はっきり分かるようなスポーティさを兼ね備えています。

フロントは、伝統的なクーペの構造的特徴であるロングボンネットと二つのパワードームが採用されています。さらに、上下方向に細く、幅の広いデザインのマルチビームLEDヘッドライト、AMGのトップモデルが纏う、縦にルーバーが入ったAMG専用ラジエターグリル、逆スラントした「シャークノーズ」、流麗な「A ウイング」デザインなど、AMG GT ファミリーならではのパフォーマンスを感じさせるデザイン要素をふんだんに盛り込んでいます。

リアにも上下方向に細いLEDリアコンビネーションランプやリトラクタブルリアスポイラー^{*5}などAMG GTファミリーの特徴が表現されています。スクエア型のデュアルエグゾーストエンドが採用されるとともに、大型のリアディフューザーが装着されます。

*5：AMG カーボンパッケージを選択した場合は、アジャスタブルリアウイングスポイラーが装着されます。

サイドはサッシュレスウィンドウと後方に向けて大きく傾斜した上下方向に細いウインドスクリーンを採用し、4ドアの利便性を持ちながら、クーペの流麗なルーフラインも保っています。ワイドなリアのショルダー部は「メルセデス AMG GT 4ドアクーペ」のアスレチックでスポーティな志向を表現するとともに、リアトレッドの拡大に寄与します。

「メルセデス AMG GT 4ドアクーペ」のインテリアの大きな特徴は乗車定員が5人であること、そして高い積載性です。リアシートは大人であっても十分な空間が確保されています。ラゲッジスペース容量は最大で461リッター、さらにリアシートを格納した場合、最大1,324リッターまで広がります。

なお、ホイールサイズを従来の20インチから21インチにサイズアップを図ることで、さらにスポーティで力強いエクステリアに仕上がっています。

インテリアデザインは高級感がありながら、パフォーマンスの高さも感じさせるデザインとなっています。面積が広く、流れるようなデザインでワイドさを強調しながら、シックで落ち着いた印象を与えるアンスラサイトウッドインテリアトリムやタービンエンジンを想起させるエアアウトレット、2つの高精細12.3インチワイドディスプレイを一枚のガラスカバーで融合したコックピットディスプレイなど、基本デザインを最新のメルセデス・ベンツモデルと共有しています。さらに、ステアリングホイールから手を離さずに走行モードを変更することができる「AMG ドライブコントロールスイッチ」が装備されます。右側のスポークの根元に位置するボタンは AMG DYNAMIC SELECT の走行モードなどを選択することができ、左側はエグゾースト、サスペンション、マニュアルモード、ESP®などの調整を行うことができます。



メルセデス AMG GT 63 S 4MATIC+